

制限付一般競争入札工事に係る技術者の配置に関する留意点

本市の発注する制限付一般競争入札工事における技術者の配置については、下記のとおりとなりますので留意してください。

記

本工事に配置する監理技術者または主任技術者は工事現場に専任配置は不要です。また、本市発注の設計金額4,500万円未満（税込み）の工事は、2件以内に限り兼務が可能です。

留意点

なお、配置する技術者は、工事を請負った企業と直接的かつ恒常的な雇用関係にあるものでなければなりません。在籍出向者、派遣社員、入札申込日以前3ヶ月未満の雇用関係にある者等については、直接的かつ恒常的な雇用関係にあるとは認められませんのでご注意ください。

●営業所における専任の技術者

営業所における専任の技術者は、営業所に常勤して専らその職務に従事しなければならないことから、工事現場の現場代理人になることはできません。

●工事現場における現場代理人

現場代理人は、建設業法上は専任を義務付けられていません。資格についても条件はありませんので技術者でなくてもかまいません。しかしながら、本市の工事請負契約約款第10条第2項に「現場代理人は、この契約の履行に関し、工事現場に常駐し、・・・」とあり、工事現場に「常駐」することが明示されています。

留意点

上記に違反した場合、法違反にはなりませんが、契約違反となり、契約の解除や指名停止の対象となりますのでご注意ください。